



# 地域医療連携室だより Vol. 80

平成 28 年 2 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

## 外来通院手術部診療部長 就任のご挨拶

平成 28 年 1 月より外来通院手術部診療部長を拝命しました橘です。

外来通院手術部では、外来通院手術(術当日帰宅)、短期滞在手術(術後 1~3 泊入院)だけでなく、自己血貯血や尿路結石の体外衝撃波破砕術にも対応しています。

外来通院手術部を利用することにより、術前日からの入院が必要なくなり、日常生活を大きく変えることなく、外来受診感覚で手術を受けることが可能となります。専任の看護スタッフが術前に術当日のスケジュール・術後のケア・退院後の注意などを説明し、また術当日の体調チェックも行います。このように通院手術部は外来と手術部・入院病棟との橋渡しをしています。

また、昨年 11 月には本館 2 階から 6 階へと移転し、風光明媚な環境で手術までの時間をくつろいで過ごすことが出来るようになりました。

看護スタッフ・各診療科との連携を密に取りながら、安全で快適な治療・手術への架け橋になりたいと思います。今後とも御指導御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

外来通院手術部診療部長  
外科医長  
橘 強



## 平成 26 年度診療科別利用実績

外科	230 件	乳がん根治術、乳腺腫瘍摘出術、小児・成人鼠径ヘルニア根治術、腹腔鏡下胆嚢摘出術、痔核根治術、痔瘻根治術など
泌尿器科	203 件	ESWL、前立腺生検、包茎手術、経尿道的手術など
眼科	169 件	白内障手術、眼瞼下垂など
皮膚科(形成外科含む)	133 件	皮膚腫瘍摘出術、乳房再建術など
整形外科	96 件	抜釘術、腱鞘切開術、四肢切断術、ピンニングなど
歯科	49 件	抜歯など
脳神経外科	46 件	椎体形成術、椎間板ヘルニア経皮的髄核摘出術など
心臓血管外科	37 件	内シャント形成術、下肢静脈瘤など
耳鼻咽喉科	18 件	鼻内視鏡手術、頸部腫瘍摘出術など
自己血貯血	186 件	

## 認定看護師

の紹介



皮膚・排泄ケア認定看護師  
大坪 有紀子



救急看護認定看護師  
横田 耕治



昨年 6 月に皮膚・排泄ケア認定看護師に認定されました。当院では、専従に次いで二人目となります。現在、病棟勤務をしながら、週 2 日は認定看護師としてストーマ外来や院内の W: 創傷、O: オストミー、C: 失禁ケア等、広くスキンケアに関する看護実践とコンサルテーションを行っています。

地域連携では、地域の訪問看護師より相談を受けて、在宅療養患者のケアについての指導や協働してケアの計画や評価を行い、健康的な在宅療養や QOL の維持、向上を目指しています。

地域の中で、褥瘡やストーマケア、失禁で問題を抱える方がありましたら、相談窓口として皮膚・排泄ケア認定看護師をご紹介します。また、ケアに必要な治療や処方などをお願いする場合がありますが、地域の先生方にご協力をいただきながら、シームレスな医療看護を提供したいと思います。

大津市民病院に搬送される患者様は年々増加の傾向にあります。なかでも、ご高齢で合併症を伴い、様々な症状を呈している患者様の受診が多くなっております。

救急看護認定看護師は患者様の病態を考え、重症感を評価し迅速で適確な救命技術を行えるように訓練された看護師です。救急を受診される患者様の症状は苦痛を伴い、場合によっては生命の危機状態に陥る可能性があります。救急で働く看護師がその危険なサインを捕らえ迅速に対応できるように、救急看護の質の向上を目指しております。また、待合室で待機していただいている患者様やご家族に対して、できる限りの苦痛緩和と精神的・社会的サポートが行えるように心がけています。

2014 年度にはドクターカーの運用も開始されました。ドクターカーに同乗する看護師が現場で迅速に救急対応できるように指導・教育にも取り組んでおります。



摂食・嚥下障害看護認定看護師  
西 真由美



訪問看護認定看護師  
和田 幸子



摂食・嚥下障害は、脳卒中や神経筋疾患、その他の疾患、また原因となる疾患がなくても、加齢が原因となって摂食・嚥下障害が生じることも多くなっています。摂食・嚥下障害が生じると誤嚥性肺炎を発症することがあり、重症になると生命への影響も危惧されます。

摂食・嚥下障害のある患者さんは誤嚥性肺炎に注意しながら、経口摂取の再獲得を目指していくことになります。食べること・飲むことは実はとても高度な技術で、一度障害を来すと再獲得は難しいものになります。食べること・飲むことは栄養や水分補給の面において非常に重要ですが、それ以上に“生きる楽しみ”であると思っています。摂食・嚥下障害で損なわれた楽しみを、一人でも多くの患者さんに取り戻してほしいと、耳鼻咽喉科医師や言語聴覚士など多くの職種でチームとなり、日々、摂食・嚥下リハビリテーションに取り組んでいます。

月曜から金曜日まで訪問看護に回っています。具体的に言いますと、車を運転し、お宅に伺って、病状の観察から始まり、利用者さんの人生をよりよくサポートできるよう日々あたたまを悩ませながら看護を実施しています。がんや非がん疾患の終末期の方、認知症の方、褥瘡処置、点滴管理など内容は様々です。

高齢社会が加速し、医療が地域・在宅へシフトしてきています。「生活と医療をつなぐ」「住み慣れた場所で最期まで」を実現できるよう、その方の生活を見ながら思いを引き出すことに重きをおいた看護を目指しています。地域でさまざまなことを判断・采配し、短時間でその方にいちばん良い環境を整えていけるよう努力しています。

病院を退院し「息子のために豚汁を作ってやれた」と母親の役割りができた喜びの語りや「こんな風に家で看取ることができて良かった」という介護者さんのほっとした思いを聴かせていただくこともあり、それを励みに日々奮闘しています。



慢性心不全看護認定看護師  
森野 智史



①高齢。②心不全の基礎疾患以外で複数の合併症。③再入院率が高い。この3つは日本の心不全患者の特徴といわれています。また慢性心不全の増悪要因は従来からのイメージである単なる塩分、水分の摂りすぎだけが原因ではなく、患者のもつ様々な生活習慣と密接に結びついています。この特徴は大きな社会問題であり今後、更に高齢が進むことで心不全患者の増加が予測され、心不全の増悪予防は今後の医療の大きな課題です。患者を取り巻く環境も複雑化し専門性の高い看護師が必要とされる中、2012年日本看護協会により「慢性心不全看護認定看護師」が新しい資格として設けられました。

現在の主な活動は、病棟スタッフや多職種連携による他部門と協力をしながら入院、通院患者へ心臓リハビリテーションを通じて関わっています。第1、3金曜日の活動日には通院患者への個別面談を始め、症状緩和へのマネジメント、対象の特性と心不全の病態に応じた生活調整など、QOLを踏まえた心不全増悪予防への関わりを行っています。



## 当院技師が 滋賀県知事表彰を受賞しました

公益社団法人 滋賀県放射線技師会 創立 65 周年記念式典が1月17日(日)に琵琶湖ホテルにて開催されました。

その祝賀会において、当院放射線部副参事の山本 芳弘技師が滋賀県知事表彰を受賞しました。

滋賀県放射線技師会の理事を務めるなど長年の功績をご評価いただきました。



滋賀県がんと向き合う週間 協賛事業

## 大津市民病院大学 公開講座



「受けていますか？がん検診」  
～がんの早期発見、早期治療のために～  
平成 28 年 2 月 5 日 (金) 14 時～15 時



大津市民病院 9 階 大会議室

講師：洲崎 聡 (健診センター所長/外科医長)

公開講座のためどなたでもご参加いただけます。  
当日受付も可能ですが、資料準備の都合上  
できるだけご予約をお願いします。